

2 級土木施工経験記述 記入用紙 B「安全管理・施工計画」

会社名	氏 名	メールアドレス

【総合評価】

☐ 合 格 圏	良くまとまっています。本試験で、この記述を再現できるようにしましょう。
☐ 準 合 格 圏	あと一步で合格圏です。添削をもとに修正すれば合格圏に達します。
☐ 努 力 圏	改善の余地があります。文章を簡潔にし、要点をまとめて書きましょう。
添削者コメント	

【問題】 あなたが経験した土木工事を 1 つ選び、工事概要を具体的に記述したうえで、次の〔設問 1〕、〔設問 2〕に答えなさい。
 なお、あなたが経験した工事でないことが判明した場合は失格となります。

【工事概要】 あなたが**経験した土木工事**に関し、次の事項について解答欄に明確に記入しなさい。

【注 意】「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合は、あなたの所属会社が受注した工事内容について記述してください。例えば、あなたの所属会社が二次下請業者の場合は、発注者名は一次下請業者名となります。
 なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

(4) 工事名

工 事 名	
-------	--

(5) 工事現場における施工管理上のあなたの立場

立 場	
-----	--

(6) 工事の内容

① 発注者名	
② 工事場所	
③ 工 期	
④ 主な工種	
⑤ 施 工 量	

2 級土木	氏 名
タイプB「安全管理・施工計画」	

〔設問 1〕 工事概要に記述した工事の「安全管理」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

ただし、交通誘導員の配置のみに関する記述は除く。

(1) 具体的な**現場状況**と特に留意した安全管理上の**技術的課題**（7 行）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

添削者記入欄（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 級土木	氏 名
タイプB「安全管理・施工計画」	

(2) (1)で記述した技術的課題を解決するために検討した項目とその対応処置（7行）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

添削者記入欄（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 級土木	氏 名
タイプB「安全管理・施工計画」	

〔設問 2〕 工事概要に記述した工事の「**施工計画**」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

- (1) 施工条件や現場周辺の状況の観点から、施工計画に、**留意した事項**（7 行）
（工事着手前、工事中のいずれでも可）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

添削者記入欄（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 級土木	氏 名
タイプB「安全管理・施工計画」	

(2) (1)で記述した留意事項に対して講じた**対策**とその**理由**（7行）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

添削者記入欄（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 級土木施工経験記述 記入例 B「安全質管理・施工計画」

会社名	氏 名	メールアドレス

【総合評価】

☐ 合格圏	良く	書き方の見本	るようにしましょう。
☐ 準合格圏	あと		圏に達します。
☐ 努力圏	改善		めて書きましょう。
添削者コメント			

【問題】あなたが経験した土木工事を1つ選び、工事概要を具体的に記述したうえで、次の〔設問1〕、〔設問2〕に答えなさい。
なお、あなたが経験した工事でないことが判明した場合は失格となります。

【工事概要】あなたが経験した土木工事に関し、次の事項について解答欄に明確に記入しなさい。

【注 意】「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合は、あなたの所属会社が受注した工事内容について記述してください。例えば、あなたの所属会社が二次下請業者の場合は、発注者名は一次下請業者名となります。
なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

(4) 工事名

工 事 名	県道 25 号線東山本地区配水管布設工事
-------	----------------------

(5) 工事現場における施工管理上のあなたの立場

立 場	工事主任
-----	------

(6) 工事の内容

① 発注者名	埼玉県川口市上下水道局
② 工事場所	埼玉県川口市御坂町東山本地内
③ 工 期	令和 6 年 9 月 2 5 日～令和 7 年 2 月 2 8 日
④ 主な工種	土留工、掘削工、配水管布設工
⑤ 施 工 量	軽量鋼矢板 I 型・長さ 2.0m・建込み 1,040 枚、 掘削土量 250 m ³ 、 ダクタイル鋳鉄管 Φ200 mm・布設延長 L=130m

〔設問 1〕 工事概要に記述した工事の「安全管理」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

ただし、交通誘導員の配置のみに関する記述は除く。

(1) 具体的な**現場状況**と特に留意した安全管理上の**技術的課題**（7行）

本工事は、県道 23 号線東山本地区内の道路の老朽化した配水管を撤去し、新たにダクタイル鋳鉄管 $\Phi 200$ mm を、土被り 1.2m、延長 130m にわたり施工するものであった。

工事現場は駅周辺の道路で、歩行者及び一般車両の交通量が多かった。また、工事中は片側交互通行で作業するため、道路幅が狭くなり、工事車両と歩行者又は工事車両と一般車両が接触する恐れがあった。

よって、本工事では、第三者災害を防止する安全対策が課題となった。

(2) (1) で記述した技術的課題を解決するために**検討した項目**とその**対応処置**（7行）

課題を解決するために、以下の検討を行い、対応処置をとった。①歩行者や一般車両に注意を喚起するよう工事予告看板等の設置を検討した。工事予告看板を工事 250m 手前から 50m 間隔で、安全看板を工事車両の出入口に設置した。②掘削時、バックホウの旋回範囲が工事区域からはみ出さないようバックホウの機種選定を検討した。小旋回型のバックホウを使用し、誘導員を配置した。③歩行者の安全を確保するよう歩行者通路の設置を検討した。歩行者用の通路は、カラーコーンとバーを使用し、通路幅 1.5m を確保した。

〔設問 2〕 工事概要に記述した工事の「**施工計画**」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

(1) 施工条件や現場周辺の状況の観点から、施工計画上、**留意した事項**（7 行）

（工事着手前、工事中のいずれでも可）

地盤調査の結果、配水管を布設する区間の基礎地盤には、N 値が 2～4 の軟らかい粘性土が含まれていることが判明した。設計では、配水管の管周囲は山砂、基礎部は原土を用いることになっていた。

現場の条件から工事完了後に、配水管の基礎地盤の地耐力が不足して、配水管が沈下する恐れがあった。

このことから、施工計画上、以下の点について留意した。

①基礎地盤の地耐力を確保する施工方法、②埋戻し時の転圧方法

(2) (1)で記述した留意事項に対して講じた**対策**とその**理由**（7 行）

上記の留意事項に対して次のような理由で対策を講じた。

①基礎地盤の地耐力を高めるため、床付け面から約 30cm の深さまでセメント系固化材を添加して、混合攪拌する方法を採用した。固化剤の添加量は、原土 1 m³当たり 5kg を使用した。②偏荷重による管の損傷と移動防止するため、埋戻し時の転圧における施工機械はタンパを使用し、敷均しは人力により行い、管両側が均等になるように山砂を投入した。また、一層の仕上がり厚さはタンパでの転圧時に締固め度 90%は確保できる 10cm とした。